

<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方や学習の進め方を理解し、相手意識をもって学習することができている。 ・活動している中で、「今、何をやる場面か」ということを把握して取り組むことが苦手な児童がいる。 ・発表の場面では、自分の考えを発表することが苦手な児童や話型を示さないと発表できない児童がいる。 		
<p>授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>視点1 上二小授業スタンダードの徹底</p>	<p>視点2 読み解く力の育成</p>	<p>視点3 「探究の時間」またはその他の教科との連携</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての提示と振り返りを行い、学習内容の確認をする。 ・ペアやグループ学習での交流の時間を通して、お互いの考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の中で、経験したことを根拠として、新しい考えや気づきを再構築できるようにする。 ・まとめや発表の活動で、自分の考えや友達のことを交流させて同義か異議かを判断させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連性を考えて、計画を立案する。 ・発言や発表の場面で生かせるように、国語の「言語理解・言語活動」の単元との連携を意識する。
<p>その他 授業改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「写真、動画を撮影する」、「他者にコメントを送る」、「情報を共有する」等の場面で積極的にICTを活用させ、徐々にICTスキルを向上させる。 ・自然に触れる活動が多いので、校内だけでなく、周辺の公園の植生などについての調査や、記録の保存などが重要である。また、その年度毎の天候の変化なども考慮する必要がある。 ・家庭の協力を必要とする単元もあり、各家庭の状況への配慮や家庭との連携が必要である。 		

